

「新年 おめでとうございます」

2015年01月03日

新年 おめでとうございます。この年の、あなたの歩みの上に主イエスの祝福を祈ります。今年もよろしく願いいたします。

あの方は、あなたがたより先にガリラヤに行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる。(マルコによる福音書 16章7節b)

復活した主イエスに愛と真実を現されたガリラヤでお目にかかれる。私たちの生きている所が出会いの場であるとの約束です。約束は必ず守られ、主イエスと共にある日々が与えられるでしょう。

昨年の3月に隠退いたしました。駅に近い、自然環境に恵まれた団地に住んでいます。私たち夫婦にとって、昨年の言葉は「楽」でした。申し訳ない思いもありますが、今まで出来なかったことに、それぞれ精を出しています。

2015年 元旦

私たち夫婦の年賀状です。隠退し、生活は大きく変わりました。追われる生活から、したいことができる生活になりました。したいことは、① ホームページを書くことです。ホームページへのアクセス数は少ないのですが、思うことを、ほぼ毎日、自由に書いています。妻も古今の聖画や、写真を加えて「エルミタージュ」を書いています。② 9条の会と脱原発の活動に参加することです。同じ目的に向かっている人々との交流は刺激を受け、楽しいものです。③ 読書は何よりの楽しみです。著者の努力と忍耐を思いながら、知らなかったことを学ぶことはスリルがあります。④ 近くに公園が沢山あり、草木や小鳥を眺めて歩いています。⑤ テレビを観ています。以前はニュース番組を中心に観ていましたが、目を惹くドラマやドキュメンタリーなどがあり、楽しんでいます。⑥ 魚釣り(「魚に餌をやり」に行くと言っていますので、疑似餌は決して使いません)に行きたいと思っていますが、妻の車でしか行けないので、妻の了解を得られた時だけで、たまーに行っています。⑦ パソコンで囲碁をしていますが、頭が粗雑なため、緻密な打ち方ができず、成長はありません。⑧ 教会は横浜本郷台教会に行っています。隠退した牧師は行く教会がないと言われますが、受け入れてくださり、静かに礼拝を守っています。佐野匡牧師はよく学び、誠実な説教をされ、聖書に立脚した教会に成長すると期待しています。夫婦とも健康が支えられていることは感謝です。住んでいる団地の人々と交わり、またお役に立ちたいと思っていますが、そこまで手が回っていません。

さて、今年はどうなる年になるのでしょうか。アフガニスタンで、無防備な子どもたちが虐殺される悲劇が起きました。「イスラム国」の虚無的な暴力は認められません。これらの問題は宗教的な争いではなく、貧しさと世界から見捨てられた怒りが背景にあるのではないのでしょうか。武力で制圧することはできません。日本は、米国の戦争に加担する愚かさに墮してはなりません。世界に平和を発信することが日本の使命です。同じアジア諸国との融和の構築から始めるべきです。日本では6人の内、1人の子どもが貧しさに喘いでいます。子どもたちから勉強する機会を奪ったら、将来は見えなくなります。行き場のない呻きから犯罪に走る人々の悲しみを受け止めることが必要です。若者たちが結婚して、家庭を築く希望の持てる、当たり前な社会を築くことは政治の責任です。生きることを喜び、平和を実現していくことを願い、できることを、今、する。体力の衰えと耄碌は避けられませんが、共にいてくださる神の恵みを見る信仰の目を持ち、また心が萎えて悲しみと怒りを忘れることがないように、抗う心を持ち続けたいと思っています。